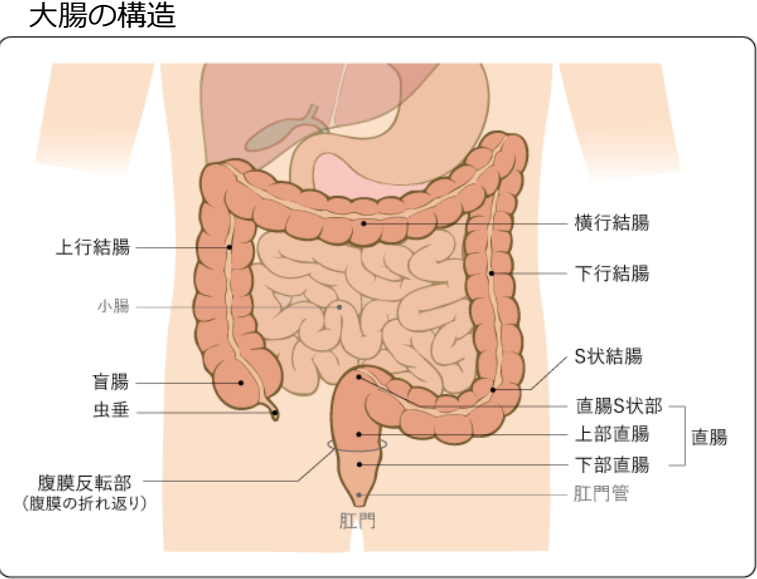




ここ大事!

大腸がん啓発月間 -大腸がん死亡者数 女性は1位 男性2位(2021年)-



大腸の役割は、水分を吸収し便を作ることです。小腸に続いて、右下腹部から始まり時計回りにお腹の中をぐるりと大きく回って肛門につながります。長さは1.5~2mほどです。大腸には栄養素の消化吸収作用は殆どありません。小腸で消化吸収された食物の残りは、大腸で水分が吸い取られ、肛門に至るまでにだんだんと固形の便になっていきます。大腸での水分の吸収が不十分だと軟便になったり、下痢をおこしたりします。

大腸がんは、大腸(結腸・直腸)に発生するがんで、線腫という良性ポリープががん化して発生するものと、正常な粘膜から直接発生するものがあります。

結腸: 盲腸、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸  
直腸: 直腸S上部、上部直腸、下部直腸

早期の段階では自覚症状は殆どなく、進行すると症状が出るが多くなります。代表的な症状として、便に血がまじる(血便や下血)、便の表面に血液が付着することがあります。がんが進行すると、慢性的に出血することによる貧血の症状(めまいなど)が現れたり、腸が狭くなることによる便秘や下痢、便が細くなる、便が残る感じがする、お腹がはるなどの症状が起こったりすることがあります。更に進行すると腸閉塞となり、便がでなくなり、腹痛や嘔吐などの症状が起こります。体重が減ることもあります。

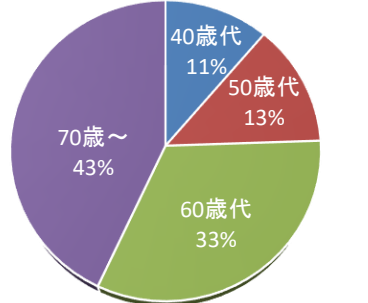
県内20市町で実施された大腸がん検診結果(令和2年度)

Table with 5 columns: Age Group (40~49, 50~59, 60~69, 70+), Number of examinees, Number of precise examinations, Number of colorectal cancer cases, Number of early-stage colorectal cancer cases (re-discovered).

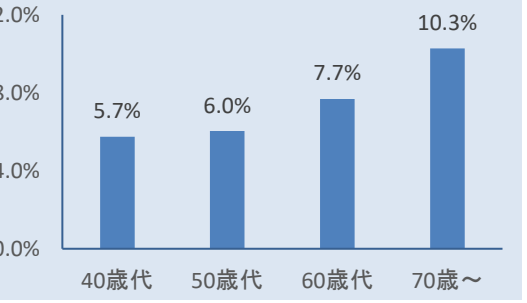
出典: 厚生労働省: 地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)都道府県表より

- 【図I】年齢別の受診者分布: 大腸がん検診の受診者数を年齢階級別にした表です。70歳以上が43%と一番多く、次いで60歳代、50歳代、40歳代となっています。
【図II】要精密検率: 検診で精密検査が必要という結果が出た割合です。最も高かったのは、70歳以上の10.3%、60歳代7.7%、他の年代はほぼ同じ割合となっています。
【図III】がん発見率: 受診者のうち、『大腸がん』が発見された人の割合です。最も高かったのは、70歳以上の0.17%、次いで50歳代の0.08%、60歳代の0.07%となっています。
また、「大腸がん発見」の中で「早期大腸がん」とされた割合は、全体の52.6%でした。その中で最も割合の高い年代は50歳代の57.1%でした。

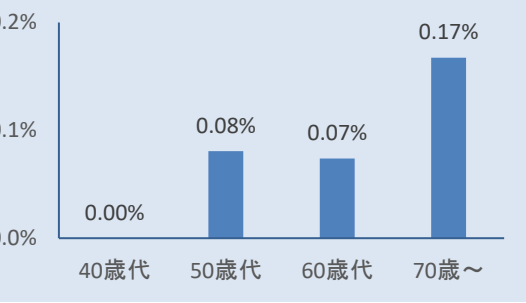
【図I】年齢別の受診者分布



【図II】要精密検率



【図III】がん発見率



大腸がん検診受診者数は、決して多くありません。「大腸がん」は、早期発見であれば殆どの人が治癒するがんです。大腸がんの早期の段階では自覚症状は殆どありません。検診を定期的に受診し、精密検査対象となった場合は、速やかに精密医療機関を受診し、早期発見・早期治療に繋がしましょう。

ここ重要!

子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)って?



子宮頸がんは、その殆どがヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が原因で起こりますが、HPVの感染を防ぐ「HPVワクチン」の接種により、発症のリスクを低くすることができます。

子宮頸がん予防ワクチンは、多くの先進国で公的接種の対象となっており、日本でも小学6年生~高校1年生相当の女性であれば、公費で接種できます。海外でも、多くの先進国で接種されており、世界保健機関(WHO)が接種を推奨しています。現在日本では3種類の子宮頸がん予防ワクチンが使用されており、いずれも子宮頸がんの50~70%の原因となるHPV16型、18型の感染を防ぐことができます。

Table with 4 columns: Vaccine Type, HPV Types Preventable, Features, Recommended Number of Shots. Includes 2-valent, 4-valent, and 9-valent vaccines.

HPVワクチンのキャッチアップ接種(HPVワクチンの接種を逃した方のための接種)は、令和7年(2025)3月まで公費で接種できます。まだ接種を受けていない方は、次の2つを満たす場合、あらためて接種の機会が提供される対象となります。

- 平成9年度生まれ~平成19年度生まれ(誕生日が1997年4月2日~2008年4月1日)の女性
HPVワクチンの接種を完了していない
※自費にて接種した場合は、3回接種で40,000円~100,000円かかります。接種は合計3回で、完了するまでに約6か月間かかるため、お早めの接種をご検討ください。
具体的な接種方法は、住民票のある市町(予防接種担当課)へお問合せください。また、極めてまれですが、予防接種を受けた方に重い健康被害が生じる場合があります。HPVワクチンに限らず、予防接種によって、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害が残るなどの健康被害が生じた場合は、申請し認定されると、法律に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。

ご紹介

佐賀大学医学部附属病院(メディカルサポートセンター内) がん相談支援センター がんサロンを訪問しました!

がんサロン『あおぞら』を開設中!!

対象者: がん患者さんとそのご家族
日時: 第1・3月曜日 11:00~14:00
場所: 多目的室(1F)
情報収集をしたり、患者さん同士で集まって話しませんか。
参加費: 無料 ※詳しくは裏面のチラシをご覧ください。
お問合せ先: 佐賀大学医学部附属病院がん相談支援センター TEL: 0952-34-3113



ご案内

3/10(日) AYA世代がん講演会

- 佐賀県のAYA世代(15~39歳)のがんについて一緒に学びませんか。
講演時間: 13:00~15:30
場所: 佐賀メディカルセンタービル4F 城内記念ホール
定員: 50名(受付順)
申込期日: 3月7日(木)まで ☎0120-246-388
※詳しくは裏面のチラシをご覧ください。

《さがんだより新聞の問合せ先》
佐賀県 健康福祉政策課 がん撲滅特別対策室 担当 本田
TEL: 0952-25-7491 FAX: 0952-25-7206
E-mail: kenkoufukushiseisaku@pref.saga.lg.jp





# AYA世代がん講演会

AYA世代（15～39歳）で新たにがんの診断を受ける方は、年間約2万人と言われて  
います。AYA世代の方は、就学、就労、結婚、家族計画など、人生を決める重要な  
出来事が闘病と重なる時期でもあり、多くの悩みを抱えておられます。  
佐賀県のAYA世代のがんの現状や、がんに関する正しい知識と一緒に学びましょう。  
※AYAとは、Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人）の頭文字をとったものです。

- 日 時： 令和6年 3月10日（日）（12：30より受付開始）
- 場 所： 佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール  
〒840-0054 佐賀市水ヶ江1丁目12-10
- 参加費： 無料（申込み先着50名様にプレゼントあり）
- 申込方法： 下記のフリーダイヤルに3月7日（木）までにお申込みください。

### 【スケジュール】

- 13：00 開会
- 13：10 講演①「AYA世代のがんの現状と治療・予防について」  
佐賀大学医学部医学科産科婦人科学講座 准教授 **奥川 馨 氏**
- 13：50 休憩
- 14：00 講演②「がんとともに生きる～AYA世代の罹患者から患者会活動まで～」  
NPO法人がんサポートかごしま理事長 **三好 綾 氏**
- 15：30 閉会

佐賀県がん総合支援センターさん愛プラザ  
〒840-0054 佐賀市水ヶ江1丁目12-10  
（佐賀メディカルセンタービル1F）

☎「がんの悩み相談ダイヤル」  
おひとりでも悩まずに、お電話ください。  
がん患者・家族つどいの会についても、こちらで受け付けいたします。

（フリーダイヤル） **0120-246-388**

■相談日：月～金曜日（益・年末年始・祝日除く） ■時間：9時半～13時、14時～16時半



# がん患者・家族つどいの会

13：00～14：00 切り絵の世界☆切り絵に挑戦！  
カッティングアーティスト 立石洋二郎さんによる  
切り絵作りを行います。

14：00～16：00 交流会  
臨床心理士、がん相談員、がんピアサポーターを  
交えた交流会を行います。

- 場 所： 佐賀メディカルセンタービル  
1階さん愛プラザ（受付）3階 研修室  
（〒840-0054 佐賀市水ヶ江1丁目12-10）
- 対 象 者： がん患者又はその家族の方
- 参 加 料： 無料
- 申込方法： 住所、氏名、電話番号、家族同伴の有無を  
下記のフリーダイヤル（がんの悩み相談ダイヤル）  
までご連絡ください
- 申込期限： 令和6年3月14日（木）

がん患者さんとご家族が笑い、不安、とまどい、恐れ、悲しみ、  
それぞれの思いを語り、分かち合い、少しでも前向きになれるき  
っかけづくりを目指します。不安、悩み、治療や薬のこと…共通  
の悩みを持つ方同士いろんなことをお話ししませんか？  
臨床心理士、医療ソーシャルワーカー、がん相談員もおりますの  
で、ご希望の方は個別相談（要予約）も可能です。



佐賀県がん総合支援センターさん愛プラザ  
〒840-0054 佐賀市水ヶ江1丁目12-10  
（佐賀メディカルセンタービル1F）

☎「がんの悩み相談ダイヤル」  
おひとりでも悩まずに、お電話ください。  
がん患者・家族つどいの会についても、こちらで受け付けいたします。

（フリーダイヤル） **0120-246-388**

■相談日：月～金曜日（益・年末年始・祝日除く） ■時間：9時半～13時、14時～16時半



# がんサロン「あおぞら」のご案内

対象者：がん患者さんとそのご家族

日 時：第1・3月曜日  
11：00～14：00

場 所：多目的室  
（裏面をご参照ください）

参加費：無料

※直接、多目的室へお越しください  
※パンフレットやパソコンを準備しています



情報収集をしたり  
患者さん同士で  
集まって  
お話しませんか？

問合せ先：佐賀大学医学部附属病院  
がん相談支援センター  
TEL：0952-34-3113

